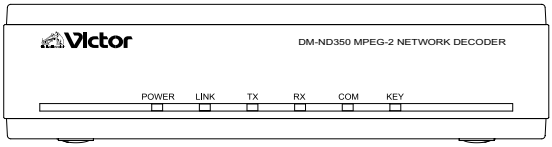
MPEG-2 ネットワークデコーダー

型名 DM-ND350 取扱説明書



お買い上げありがとうございます。

ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

私たちは環境・資源を大切にしています。
この取扱説明書は再生紙（古紙100%）を使用しています。

LST0234-001B

特長

高画質

最大で15MbpsまでのMPEG-2映像を再生できます。

簡単操作

リモコンで最大 999 箇所まで直接選択できます。

強力なエラー訂正

エラー訂正機能により、最大で 33% の単発ロス、127個のバーストロスを復元できます。

わかりやすい GUI

日本語メニューを表示できます。

もくじ

はじめに

特長 2
もくじ 3
取扱説明書の構成 4
動作環境 5
正しくお使いいただくためのご注意 6
各部の名前とはたらき 8
フロントパネル / サイドパネル / リアパネル / リモコン
こんなことができます 14

準備

準備の流れ 16
接続と設置 17
IP アドレスの確認 20
Web ブラウザの起動 22
詳細設定 24
情報表示画面 / ローカル設定画面 / 再起動画面
/ 工場出荷時の設定に戻す画面 / ファームウェアの更新画面
/ ユーザー名・パスワードの変更画面

基本操作

映像を見る 36
リモコンの番号ボタンで選ぶ / メニューで選ぶ

その他

トラブル時の対応 40
保証とアフターサービス 44
仕様 45

取扱説明書の構成

本機の取扱説明書は次のように構成されています。

取扱説明書（本書）

本機を使用するための基本的な事項が書かれています。すでに本機の設置・設定が終わっていれば、本機をすぐにご使用いただけます。☞36 ページ 「映像を見る」

設置説明書（Web）

設置説明の詳細をWebにて配布しています。以下のURLからダウンロードしてください。
http://www.jvc-victor.co.jp/pro/net-enc/dm-ne300/dmne300inst.html

■設置説明書に記載されている内容
- アプリケーション別のシステム構成方法
  パソコンからのストリーミング制御（DM-ND350のAPIを含む）
  外部接続機器の遠隔制御
  メニューを表示させるシステムの構成方法
- DM-ND350のメンテナンスモード
- DHCPベンダ固有情報によるDM-ND350の自動設定など

この取扱説明書の見かた

■本文中の記号の見かた

操作上の注意が書かれています。

機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

参考ページや参照項目を示しています。

■本書の記載内容について

●本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
●本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などの マークは省略してあります。
●本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
● Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。

動作環境

本機は、次のネットワーク環境でご使用ください。

ネットワーク環境

●ネットワーク機器は 100BASE-TX 対応のものを使用し、ポートを Auto Negotiation に設定してください。
● DM-ND350 へ不要なパケットが大量に到来すると、本来の受信が妨げられ動作に支障が出ます。負荷パケットへの耐性は、エラー訂正機能（FEC）の使用、DM-NE300 で設定するパケットサイズ（TSパケット数）、ビットレートによって異なります。
工場出荷時の設定（FEC を使用せず、TS パケット数は 64）でビットレートを上限の 14.88Mbps にした場合、ブロードキャスト負荷が6Mbps を越える、あるいはマルチキャスト負荷が 80Mbps を越えるとノイズになることがあります。
FECを使用し、ビットレートを6.95Mbps（FEC使用時の上限）にした場合、ブロードキャスト負荷が 1Mbps を越える、あるいはマルチキャスト負荷が 18Mbps を越えるとノイズになることがあります。
TSパケット数を7に設定し、ビットレートを12.90Mbps（TS=7での上限）にした場合、ブロードキャスト負荷が0.2Mbpsを越える、あるいはマルチキャスト負荷が5Mbps を越えるとノイズになることがあります。
●ネットワークでパケットが到達するまでにかかる時間が一定量を越えて変動すると、ノイズが発生します。ビットレートが 10Mbps 以下の場合にはジッタが± 50msec 以内、ビットレートが10Mbpsを越える場合にはジッタが±40msec 以内のネットワークでご使用ください。
●本機のエラー訂正機能（FEC）は、DM-NE300 の Ver.2.0 以降と組み合わせることで動作します。

本機を設定する Web ブラウザは、次のものをご使用ください。

本機を設定する Web ブラウザ

● Internet Explorer V.6.0 に対応しています。
●CPU 性能、必要メモリ容量などは、ご使用の Web ブラウザの推奨値をご覧ください。
●パソコンとネットワークをクロスケーブルで接続する場合は、パソコンの LAN 仕様をご確認ください。まれにクロスケーブルで通信できないパソコンがあります。

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

■次のような場所では保管または使用しないでください。誤動作や故障原因になります。

- 許容動作温度（0℃～ 40℃）範囲外の極端に暑いところや寒いところ
- 許容動作湿度（30%～ 80%）範囲外の湿気の多いところ
- 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- つゆつき（結露）の発生しやすいところ
- 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

■機器内部の温度上昇を防ぐため、機器を重ねて使用しないでください。
■本機を立てて使用しないでください。
■ショックを与えないようていねいにお取り扱いください。
■本機はやわらかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふきますと表面が溶けたり、くもったりします。よごれがひどいときは、中性洗剤を水でうすめてふき、あとでからぶきしてください。
■電源を完全に遮断する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
■節電のため長時間使用しないときは電源を切ってください。

設置について

■本機は電源コンセントの近くに設置してください。
■電源コードは指定（付属）のものをお使いください。

この装置は、情報処理装置電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電波障害について

本機はVCCI（情報処理装置等電波障害自主規制協議会）クラスA情報装置の基準に適合した製品ですが、テレビやラジオ受信機、無線機などの近くで使用しますと、画面が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。このような場合は、以下の処置を試してください。

- 本装置をラジオ・テレビから離すか、向きを変えてみてください。
- 室内アンテナをご使用の場合には、アンテナの向きや位置を変えてみてください。
- ラジオ・テレビの電源コンセントとは別のコンセントを使ってみてください。
- 電源コンセントと電源プラグとの間に、市販されているノイズフィルタを入れてみてください。

運用に際して生ずる結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

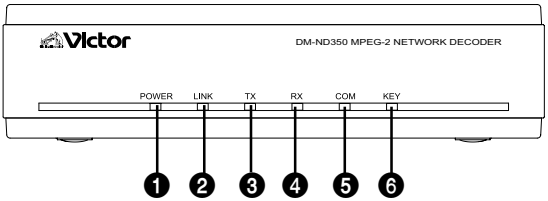
著作権について

お客様ご自身が、素材画像・音声の著作者であるか、または素材画像・音声の著作権者から複製等について許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材画像、音声として、複製、改変、送信等するには原則として著作権者の許諾が必要です。
許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信等したときには、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材画像・音声として使用する際には、その著作物の使用許諾条件等については、お客様ご自身で十分ご確認ください。
また、複写体の権利(者)が存在する場合は、撮影の許諾、利用（加工）の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれに係わる許諾条件を十分ご確認ください。

本製品に搭載されているソフトウェアの一部は、GNU 一般公衆利用許諾（GNU General Public License、以下「GPL」と呼ぶ）に該当するフリーソフトウェアです。GPL に該当するフリーソフトウェアについては、下記の URL をご覧ください。
http://www.jvc-victor.co.jp/pro/net-enc/dm-ne300/nd350gpl.html

各部の名前とはたらき

フロントパネル



メモ

POWER表示灯が、青色で点滅し続けている場合はメンテナンスモードです。電源を入れ直すか、リセットボタンを押せば、メンテナンスモードは終了し通常の状態で起動します。メンテナンスモードについては設置説明書をご覧ください。

❶ POWER 表示灯

表示灯の点灯状態により本機の動作状態を表します。
消灯：通電していません。
青色点灯：動作中です。
オレンジ色点灯：スタンバイ状態です。
青色点滅：起動中か終了処理中です。

❷ LINK 表示灯

本機がネットワーク機器とつながっているときに点灯します。

❸ TX 表示灯

ネットワークへデータを送信しているときに点灯します。

❹ RX 表示灯

ネットワークからデータを受信しているときに点灯します。

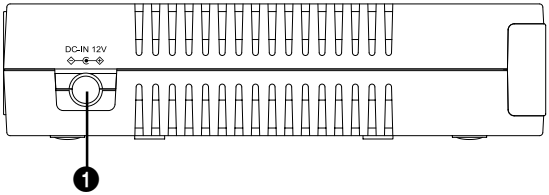
❺ COM 表示灯

シリアルポートでデータを送受信しているときに点灯します。

❻ KEY 表示灯

リモコンからのキー信号を受信したときに点灯します。

サイドパネル



ご注意

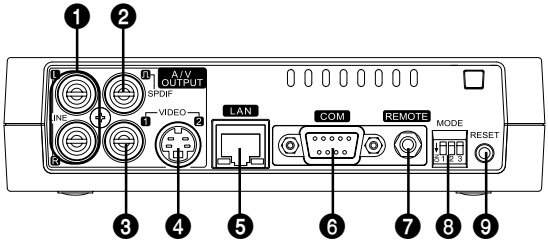
付属以外のACアダプターは絶対に接続しないでください。

❶ 電源端子

付属のACアダプターを接続します。

各部の名前とはたらき

リアパネル



❶ LINE 端子（L/R）

アナログの音声出力端子です。スピーカー付きのモニターテレビやオーディオアンプに接続します。

❷ SPDIF 出力端子

デジタルの音声出力端子です。SPDIF 入力端子付きのオーディオアンプに接続します。

❸ VIDEO1 出力端子

コンポジット映像出力端子です。モニターテレビに接続します。

❹ VIDEO2 出力端子

Y/C 映像出力端子です。モニターテレビに接続します。

❺ LAN 端子

LAN ケーブルを接続します。

❻ COM 端子

RS232C シリアルポートです。シリアル制御を行う場合は、制御機器に接続します。

❼ REMOTE 端子

サービス用端子です。通常は使用しません。

❽ モード設定スイッチ

サービス用スイッチです。通常は使用しません。

❾ リセットボタン

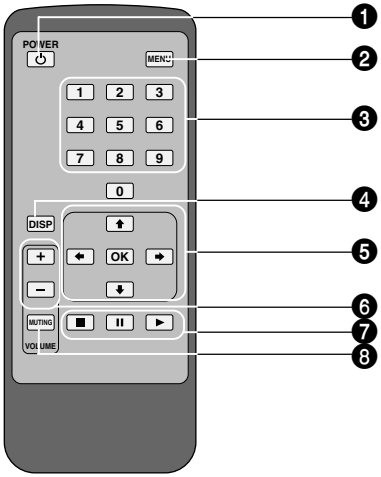
このボタンを押すと、本機は再起動します。2秒間以上押し続けるとメンテナンスモードになります。メンテナンスモードについては、設置説明書をご覧ください。

メモ

COM端子は、メンテナンスモードでも使用します。メンテナンスモードについては設置説明書をご覧ください。

各部の名前とはたらき

リモコン



❶ POWER ボタン

本機のスタンバイ⇔電源オン状態を切り換えます。

❷ MENU ボタン

メニュー選択モード（☞31ページ「VOD モード設定」）でこのボタンを押すと、ホームメニュー画面が表示されます。電源をオンした直後に長押しすると、ネットワーク設定画面（☞20ページ「IP アドレスの確認」）が表示されます。

❸ 番号ボタン

コンテンツの呼び出しや、数字入力に使います。

❹ DISP ボタン

映像の再生中に、このボタンを押すとコンテンツのタイトルが表示されます。もう一度押すと情報は消えます。

❺ 矢印／ OK ボタン
メニュー項目の選択／確定に使います。

❻ 音量ボタン
[+] ：再生音量が大きくなります。
[−] ：再生音量が小さくなります。

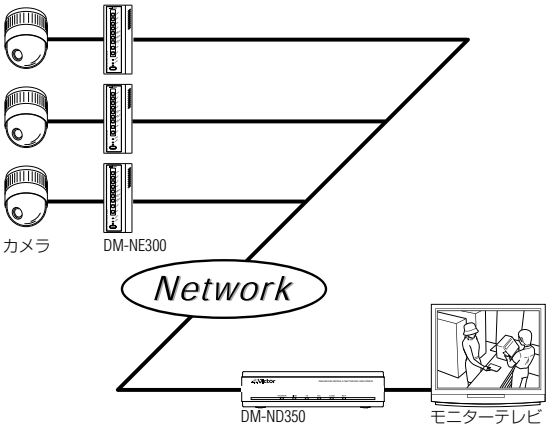
❼ プレイモードボタン
[■] ：再生を停止します。
[II] ：再生を一時停止（静止画状態）します。
[►] ：再生を開始します。

❽ MUTING ボタン
再生音を消します。もう一度押すと元に戻ります。

こんなことができます

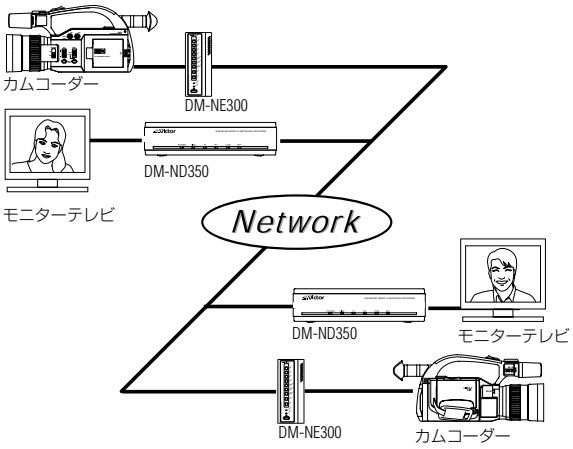
多数の DM-NE300 から出力される映像を切り換えながら遠隔監視ができます。

遠隔監視



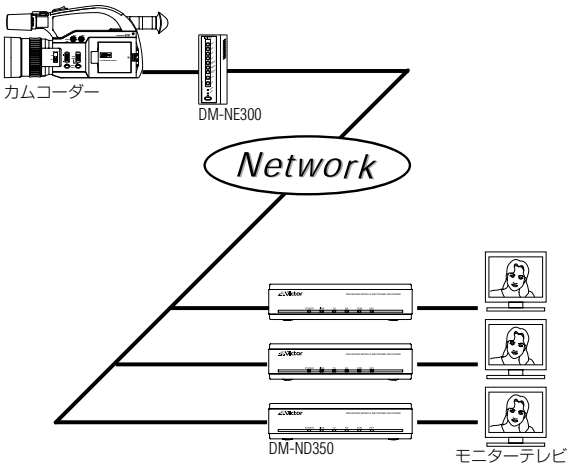
DM-NE300 と DM-ND350 を 2 組使用し遠隔講義ができます。

テレビ会議、双方向遠隔講義



同じ映像を多数の拠点で視聴できます。

ストリーミング配信（マルチキャスト）



準備の流れ

次の手順で設定してください。
すでに本機の設置・設定が終わっていれば、本機をすぐにご使用いただけます。
☞36 ページ 「映像を見る」

Step1 ＼ 接続と設置☞17 ページ

・背面部にケーブルを接続します。
・最後に電源を入れます。

Step2 ＼ IP アドレスの確認☞20 ページ

・本機の IP アドレスをモニターテレビに表示させ、リモコン操作で設定を変更します。

Step3 ＼ パソコンのネットワーク設定

☞Windows マニュアル

・Web ブラウザを動作させるパソコンのネットワークアドレスを設定します。ネットワークアドレスの設定方法については、Windows に添付されているマニュアルやヘルプを参照してください。

Step4 ＼ Web ブラウザの起動☞22 ページ

・Web ブラウザを立ち上げ、本機の IP アドレスを入力します。

Step5 ＼ 詳細設定☞24 ページ

・モードごとに細かな設定を行ないます。

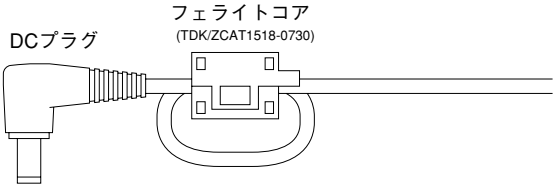
接続と設置

付属のフェライトコア（大／小）をACケーブルとLANケーブルにそれぞれ取り付けます。

フェライトコアの取り付け

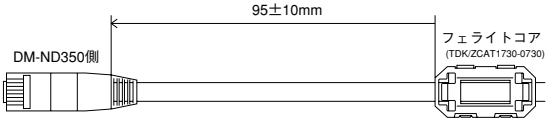
■ AC ケーブルへの取り付け

フェライトコア小（TDK/ZCAT1518-0730）を取り付けます。



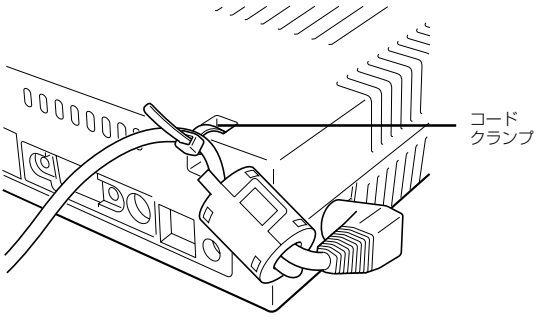
■ LAN ケーブルへの取り付け

フェライトコア大（TDK/ZCAT1730-0730）を取り付けます。



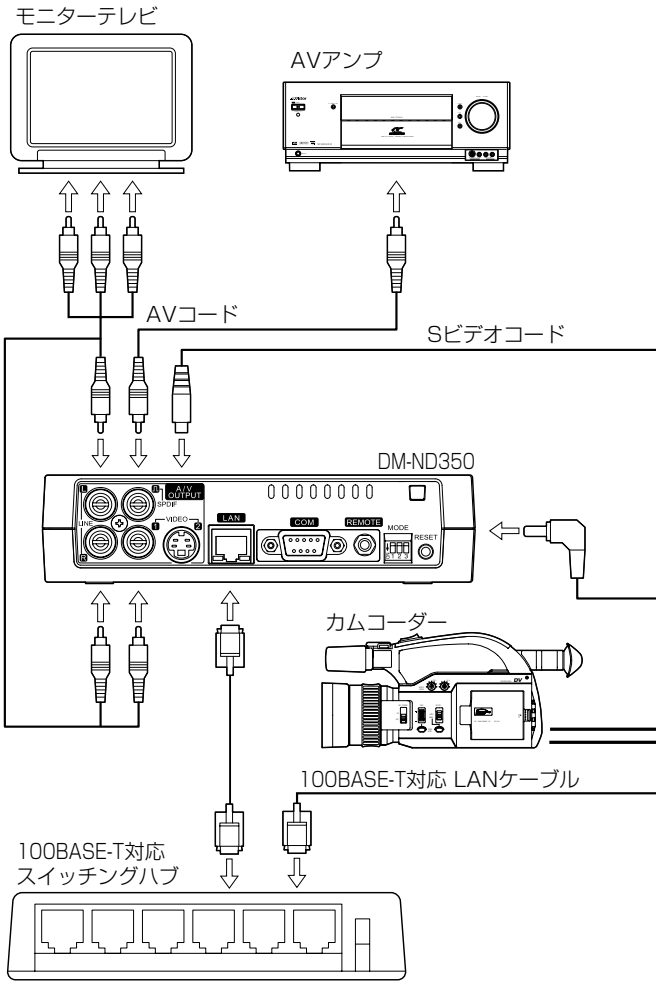
電源コードの取り付け

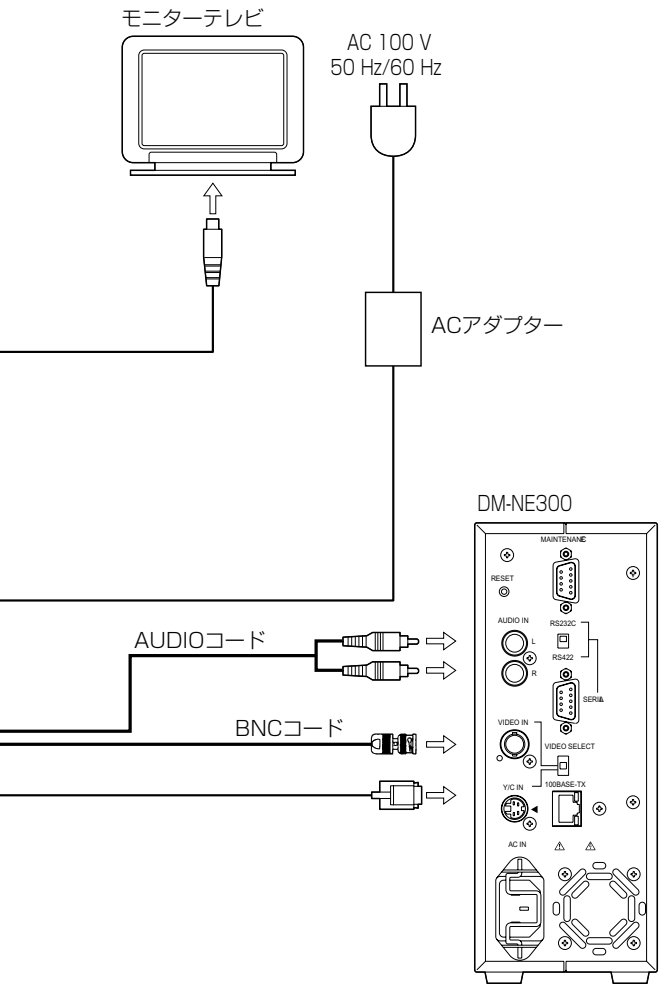
本機に DC プラグを接続し、付属のコードクランプでコードを止めます。



接続と設置

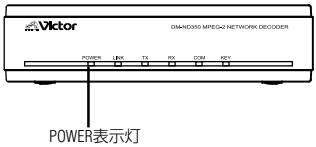
機器の接続例



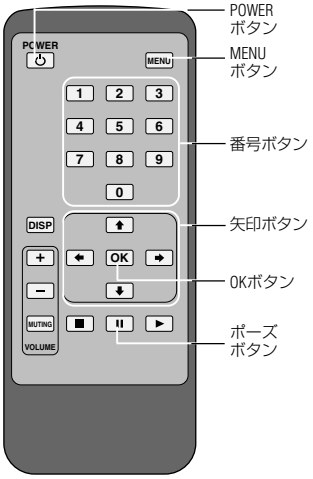

モニターテレビ
AC 100 V
50 Hz/60 Hz
ACアダプター
DM-NE300
AUDIOコード
BNCコード
MAINTENANCE
RESET
AUDIO IN
L
R
RS232C
RS422
SERIAL
VIDEO IN
VIDEO SELECT
Y/C IN
100BASE-TX
AC IN

IPアドレスの確認

本機のIPアドレスをモニターテレビで確認します。操作はリモコンを使用します。
工場出荷時のIPアドレスは、10.＊.＊.＊に設定されています。下3桁はMACアドレスの下3桁と同一です。MACアドレスは本機底面のラベルに記載されています。（ラベルの記載は16進数で表示されています。）



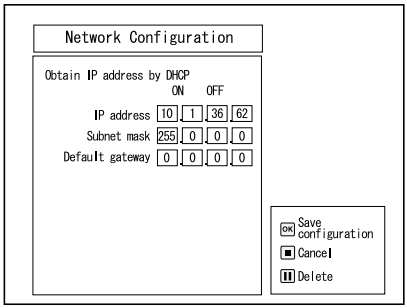
POWER表示灯



POWER ボタン
MENU ボタン
番号ボタン
矢印ボタン
OKボタン
ポーズ ボタン

モニターテレビ画面に表示させる

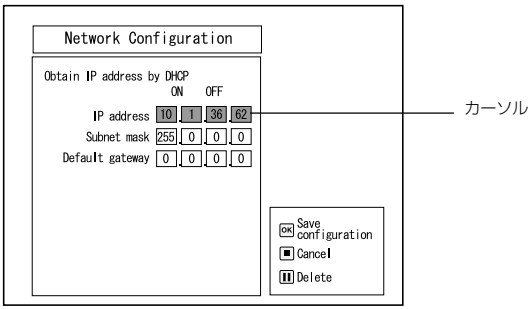
1 **本機を通電し、POWER表示灯が青色点滅しているときにリモコンのMENUボタンを押し続ける**
・モニターテレビ画面にネットワーク設定画面が表示されます。



<ネットワーク設定画面>

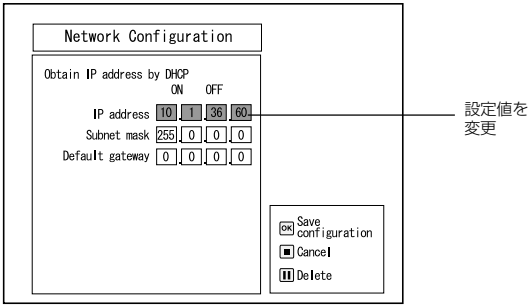
設定を変更する

1 リモコンの矢印ボタンを押す
・変更したい設定値にカーソルを合わせます。



<ネットワーク設定画面>

2 リモコンの番号ボタンを押す
・変更したい設定値を入力します。



<ネットワーク設定画面>

3 リモコンの OK ボタンを押す
・設定値が変更され、本機は再起動します。

メモ

リモコンのポーズボタンを押すと、カーソルの左隣の数値が削除されます。

メモ

IP address の設定値を”0.0.0.0”に設定すると、工場出荷時の IP アドレスで起動できます。

Web ブラウザの起動

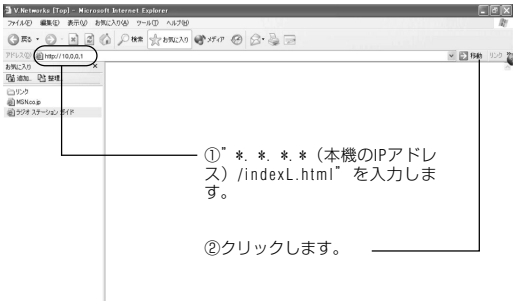
ネットワークにつながったパソコンで、Web ブラウザを使用し、本機の設定ページを開きます。
Webブラウザの閲覧場所に本機のWebページURLを指定すると、トップページが表示されます。
Webブラウザにプロキシサーバーが設定されていると、アクセスできない場合があります。そのときは、プロキシサーバーの設定を外してください。

メモ

本機のIPアドレスのみを入力すると、英語のトップページが表示されます。
英語トップページの右上にある “Japanese” をクリックすると、日本語のトップページに切り換えられます。

起動の手順

1 Web ブラウザを起動する



2 Web ブラウザにトップページが表示される

<トップページ>

◆ Web ページ画像について

Web ブラウザの設定によって、表示される Web ページの見え方が異なる場合があります。万一、画面内のすべての項目が表示されない場合には、ウィンドウのサイズを変えるか、Web ブラウザの文字サイズを変えるなどしてご使用ください。本書では、Internet Explorer の表示画面を用いて説明しています。

◆ URL の登録について

Web ページの場所（URL：Uniform Resource Locator）の登録をお勧めします。現在表示されてる Web ページを Web ブラウザに登録しておけば、Web ページをすばやく表示できます。Internet Explorer では「お気に入り」→「追加」で登録できます。

詳細設定

ネットワークにつながったパソコンで、Web ブラウザを使用し、本機の細かな設定を行ないます。
トップページ画面を表示するには
☞22 ページ「Web ブラウザの起動」

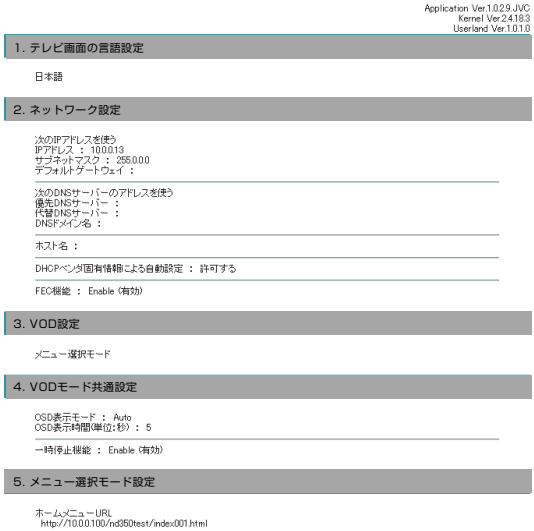
トップページ画面

項目	内容
情報表示 ☞26ページ	ファームウェアのバージョンや、動作中の設定値を表示します。
ローカル設定 ☞28ページ	本機に保存されている設定値を変更します。 設定完了後は自動的に再起動します。
再起動 ☞34ページ	本機を再起動します。
工場出荷時の設定に戻す ☞34ページ	本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。 設定完了後は自動的に再起動します。
ファームウェアの更新 ☞35ページ	本機のファームウェアを更新します。更新後は自動的に再起動します。
ユーザー名・パスワードの変更 ☞35ページ	設定時に必要なユーザー名・パスワードを変更します。 設定完了後は自動的に再起動します。

詳細設定

ファームウェアのバージョンや、動作中の設定値を表示します。情報表示画面を表示するにはトップページの［情報表示］をクリックします。

情報表示画面



スクリーンセイバー設定 ： OFF
スクリーンセイバー起動待機時間(単位:分) ： 5
電源オン後のスクリーンセイバー ： 待機
スクリーンセイバーコンテンツ(ビデオ)URL

GUI設定
---------- フレーム設定 ----------
フレームセット ： オーシャンブルー
---------- タイトルフィールド設定 ----------
テキスト色 ： ffffff　　バックグラウンド色 ： 666666
---------- コンテンツフィールド設定 ----------
テキスト色 ： ffffff　　バックグラウンド色 ： 666666
メニュー色 ： ffffff　　カーソルバー色 ： 99cccc

6. 番号選択モード設定

デフォルトコンテンツURL

7. シリアルポート設定

リモートシリアル ： ホスト固定接続
ホスト名またはIPアドレス ： 10.0.0.2
ホストポート番号 ： 49153
通信速度 ： 9600

データビット長 ： 8

パリティ ： パリティ無し

ストップビット長 ： 1

フロー制御 ： なし

8. 番号選択モードコンテンツリスト

CH　　タイトル
URL

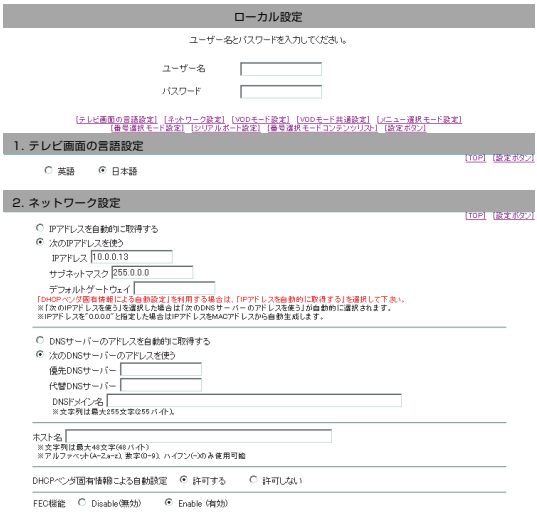
001　　DM-NE300 No.1
rtsp://10.0.0.1/Default

002　　DM-NE300 No.2
rtsp://10.0.0.2/Default

詳細設定

本機に保存されている設定値を変更します。ユーザー名とパスワードを入力し、設定を変更した後にページの最下部にある設定ボタンを押してください。新しい設定値で再起動します。
ローカル設定画面を表示するにはトップページの［ローカル設定］をクリックします。

ローカル設定画面



項目	内容
ユーザー名・パスワード	工場出荷時には次のユーザー名／パスワードが設定されています。 ユーザー名：　admin パスワード：　なし
テレビ画面の言語設定	モニターテレビ画面に表示されるメッセージの言語を設定します。
ネットワーク設定	◆IPアドレスの設定 IPアドレスに0.0.0.0 を設定した場合には、工場出荷時のIPアドレスに設定されます。工場出荷時のIPアドレスは、10.*.*.* に設定されています。下３桁はMACアドレスの下３桁と同一です。MACアドレスは本機底面のラベルに記載されています。（ラベルの記載は16進数で表示されています。）IPアドレスに 0.0.0.0 を設定しても、サブネットマスクとデフォルトゲートウエイは工場出荷値には戻らず、ここで設定された値になります。 ◆DNSサーバーの設定 DNSサーバーを設定すると、IPアドレスの代わりに名前で接続先を指定することができます。メニューを保持するWebサーバーやDM-NE300をIPアドレスで指定する場合には、設定する必要はありません。「次のIPアドレスを使う」を選択した場合には、自動的に「次のDNSサーバーのアドレスを使う」が選択されます。その場合も、DNSサーバーを使わないのであれば、サーバー設定欄を空欄のままにします。 ◆DHCPベンダ固有情報による自動設定 DHCPサーバーのベンダ固有情報を使い、DHCPで起動したDM-ND350を自動的に設定変更することができます。 ◆ホスト名 他の機器からDNSで本機へアクセスする場合に設定します。IPアドレスでアクセスする場合には設定する必要はありません。 ◆FEC機能の設定 FEC（Forward Error Correction）機能は、パケットロスが起こった場合に失われたパケットを復元する機能です。 ［Enable（有効）］に設定すると、FEC機能のついたDM-NE300と通信する場合にFEC機能が働きます。

メモ

Web ブラウザ画面の言語設定ではありません。

メモ

DHCP ベンダ固有情報による自動設定の詳細については設置説明書をご覧ください。

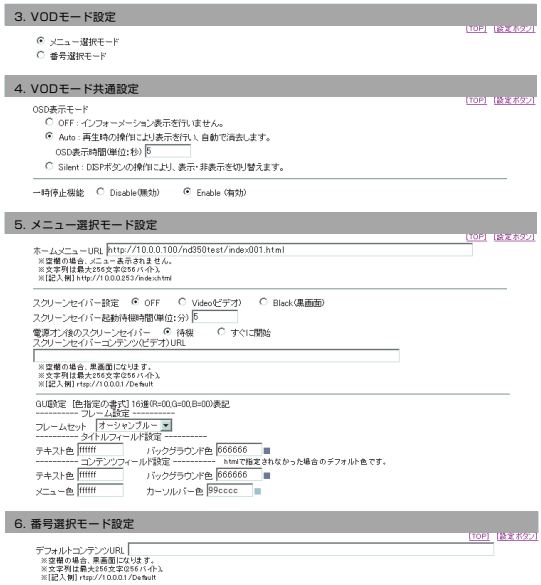
メモ

FEC 機能を使用すると、遅延時間が長くなります。

詳細設定

本機に保存されている設定値を変更します。ユーザー名とパスワードを入力し、設定を変更した後にページの最下部にある設定ボタンを押してください。新しい設定値で再起動します。
ローカル設定画面を表示するにはトップページの［ローカル設定］をクリックします。

ローカル設定画面（つづき）



項目	内容
VODモード設定	番号選択モードとメニュー選択モードを切り換えることができます。 ［メニュー選択モード］で使用する場合には、起動時に取得するメニューを「ホームメニューURL」へ設定してください。 ［番号選択モード］で使用する場合には、「番号選択モードコンテンツリスト」にDM-NE300のURLを登録してください。
VODモード共通設定	◆OSD表示モード設定 OSDは現在の接続先の情報をテレビ画面に表示する機能です。工場出荷設定では、再生開始後の5秒間に表示されます。またリモコンのDISPボタンを押すことで表示されます。 ◆一時停止機能設定 ［Disable（無効）］に設定すると、リモコンのポーズボタンを押しても再生は一時停止しなくなります。
メニュー選択モード設定	◆ホームメニュー設定 メニュー選択モードにおいて、起動時に表示するメニューのURLを指定します。 ◆スクリーンセイバー設定 メニュー選択モードでスクリーンセイバーをVideoに設定した場合、ここで指定した映像がスクリーンセイバーとして使用されます。音声も再生されます。停止ボタンを押せばスクリーンセイバーのビデオは終了します。 ◆GUI設定 コンテンツフィールド設定にある「テキスト色」は、地のテキストの色を指定します。「メニュー色」は、接続あるいはリンク先を示すテキストの色を指定します。
番号選択モード設定	番号選択モードでこの欄が設定された場合、起動後ただちにこの映像が再生されます。リモコンで他の映像を選択・再生することはできますが、その再生が終了すると自動的にデフォルトコンテンツが再生されます。

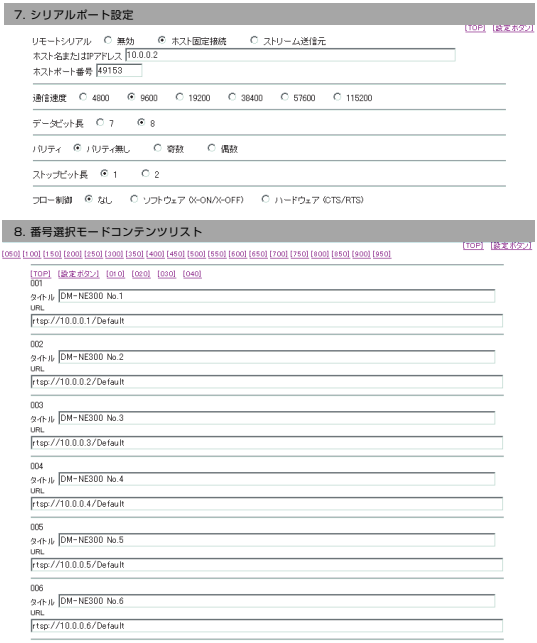
メモ

［メニュー選択モード］では、メニューを記述したHTMLファイル、およびそのHTMLファイルを保持するWEBサーバーが必要となります。メニューとして使用するためのHTML記述法については、設置説明書をご覧ください。

詳細設定

本機に保存されている設定値を変更します。ユーザー名とパスワードを入力し、設定を変更した後にページの最下部にある設定ボタンを押してください。新しい設定値で再起動します。
ローカル設定画面を表示するにはトップページの［ローカル設定］をクリックします。

ローカル設定画面（つづき）



項目	内容
シリアルポート設定	［ホスト固定接続］を選択すると、本機のシリアルポートは［ホスト名またはIPアドレス］欄で指定したDM-NE300とつながります。たとえ映像を再生する先を変更しても、シリアルポートの先は連動しません。 ［ストリーム送信元］を選択すると、本機のシリアルポートは、現在再生しているDM-NE300とつながります。再生先を変更すると、シリアルポートの先も連動します。停止中にはオフになります。 ここで設定できるホストポート番号は、DM-ND350がシリアルデータをネットワークへ送信する場合の宛先ポート番号です。DM-NE300と組み合わせて使用する場合には、工場出荷値である49152のままにしてください。なおDM-ND350がネットワークから受信するシリアル用データの宛先ポート番号は49152に固定されており、変更できません。
番号選択モード コンテンツリスト	この欄では００１から９９９の番号にDM-NE300のURLを割り当てることができます。番号選択モードでは、リモコンでこの番号を入力することにより映像を選択します。 例えばDM-NE300のIPアドレスが10.0.0.1であれば、URL欄に次を設定してください。 rtsp://10.0.0.1/Default

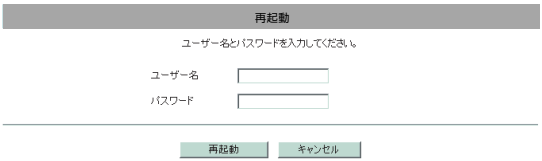
メモ

DM-ND350とDM-NE300を使った遠隔制御の詳細は設置説明書をご覧ください。

詳細設定

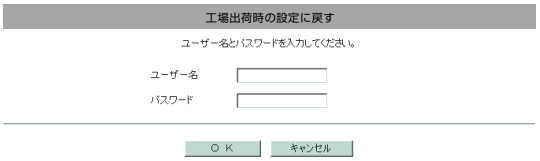
本機を再起動させます。工場出荷時には次のユーザー名／パスワードが設定されています。
ユーザー名：　admin
パスワード：　なし

再起動画面



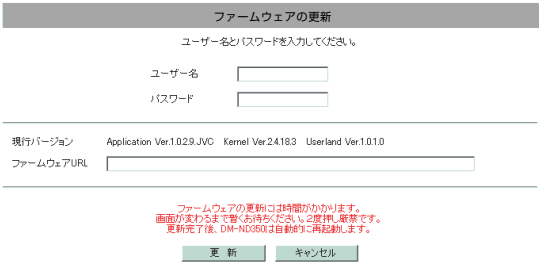
工場出荷時の設定に戻します。工場出荷時には次のユーザー名／パスワードが設定されています。
ユーザー名：　admin
パスワード：　なし

工場出荷時の設定に戻す画面



本機のファームウエアを更新します。工場出荷時には次のユーザー名／パスワードが設定されています。
ユーザー名：　admin
パスワード：　なし
ファームウェア更新の詳細は、最寄のシステム営業所にお問い合わせください。

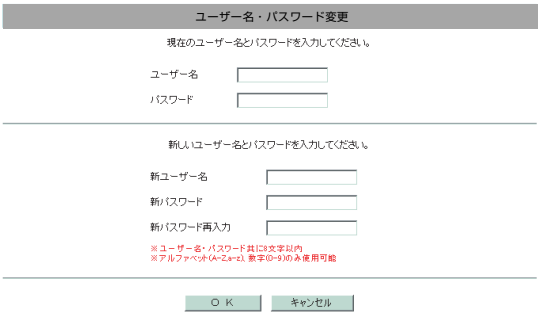
ファームウェアの更新画面



本機に設定されているパスワードを変更します。工場出荷時には次のユーザー名／パスワードが設定されています。
ユーザー名：　admin
パスワード：　なし

メモ
第三者によるいたずらを防ぐため、ユーザー名とパスワードは変更してください。変更したユーザー名とパスワードは忘れないようにしてください。ユーザー名とパスワードを忘れると設定変更ができなくなります。

ユーザー名・パスワード変更画面



映像を見る

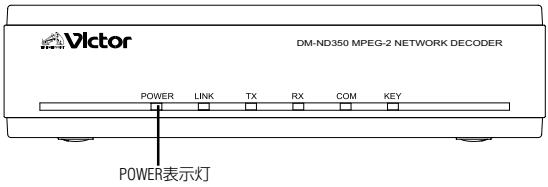
本機のコンテンツ選択方法は、次の 2 とおりがあります。

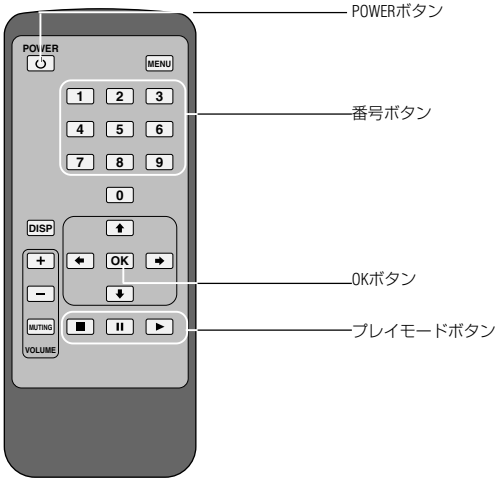
●リモコンの番号選択ボタンで選ぶ
☞36 ページ

●メニュー画面で選ぶ
☞38 ページ

コンテンツの選択方法は、Web ブラウザ設定画面で設定しておきます。
☞31 ページ 「VOD モード設定」

リモコンの番号ボタンで選ぶ

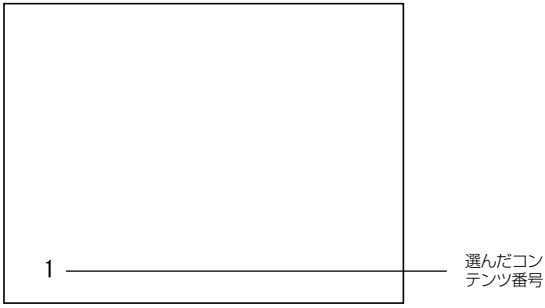




1 リモコンの POWER ボタンを押す
・POWER 表示灯が青色の点滅から点灯に変わります。
・モニターテレビ画面には黒画面が表示されます。
（メニュー画面は表示されません。）

メモ
本機の POWER 表示灯が青色で点灯しているときは、手順 2 にすすみます。

2 リモコンの番号ボタンを押す
・見たい映像のコンテンツ番号を押します。



＜モニターテレビ画面＞

メモ
[↑]ボタンを押すと、登録されている最後の接続先に接続します。
[↓]ボタンを押すと、登録されている先頭の接続先に接続します。
登録されていない番号を入力しても、接続動作を行ないません。
2桁のコンテンツ番号や、3桁のコンテンツ番号が登録されていないときは、登録のない桁数を入力しても無効となります。

3 リモコンの OK ボタンを押す
・選んだ映像の再生が始まります。
・3 桁のコンテンツ番号を押したときは、OKボタンを押さなくても再生が始まります。

メモ
再生中に次のボタン操作ができます。
[1]：選んだ番号の映像が再生されます。
[II]：一時停止します。
[↑]：登録されている前の接続先に接続します。
[↓]：登録されている次の接続先に接続します。

4 リモコンのプレイモードボタン[■]を押す
・映像の再生を終了します。

映像を見る

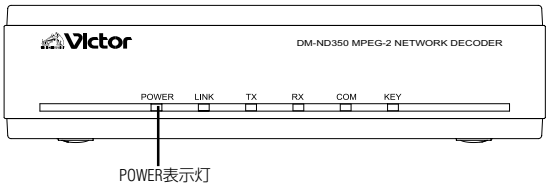
本機のコンテンツ選択方法は、次の 2 とおりがあります。

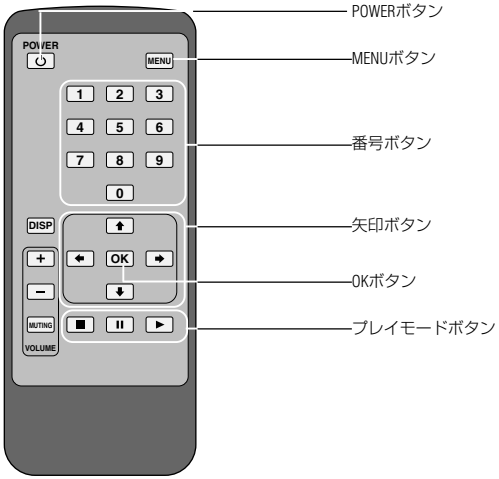
●リモコンの番号選択ボタンで選ぶ
☞36 ページ

●メニュー画面で選ぶ
☞38 ページ

コンテンツの選択方法は、Web ブラウザ設定画面で設定しておきます。
☞31 ページ 「VOD モード設定」

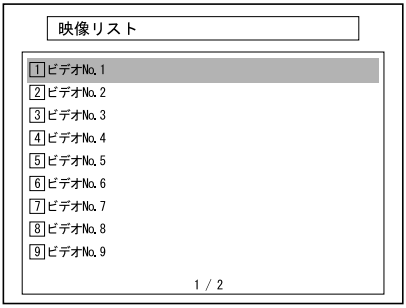
メニュー画面で選ぶ





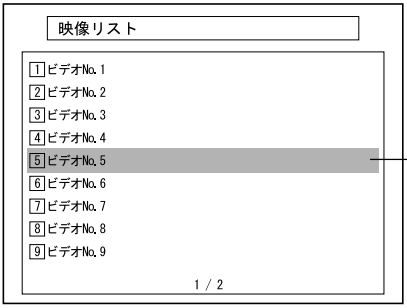
1 リモコンの POWER ボタンを押す
・POWER 表示灯が青色の点滅から点灯に変わります。

2 モニターテレビにホームメニュー画面が表示される



<モニターテレビ画面>

3 リモコンの矢印ボタンを押す
・カーソルを移動させ、見たい映像を選びます。



<モニターテレビ画面>

4 リモコンの OK ボタンを押す
・選んだ映像の再生が始まります。

5 リモコンのプレイモードボタン■を押す
・映像の再生を終了します。

メモ
本機の POWER 表示灯が青色で点灯しているときは、手順 2 にすすみます。

メモ
メニュー表示内容は HTML ファイルの記述によって変わります。詳しくは設置説明書をご覧ください。

メモ
番号ボタンを押すと、見たい映像をダイレクトに選ぶことができます。

メモ
再生中に次のボタン操作ができます。
1 :選んだ番号の映像が再生されます。
II :一時停止します。
MENU :再生を終了し、ホームメニュー画面が表示されます。

メモ
停止中に ■ ボタンを押すと、現在のメニューを読み込み、表示しなおします。

トラブル時の対応

症状	原因
電源を入れたのに、”Now Loading・・・”と表示されたまま先に進まない。	◆DHCP サーバーへアクセスできないケース DM-ND350のDHCPがオンになっている場合、DM-ND350は起動した際にDHCP サーバーへアクセスします。DHCP サーバーと接続できない場合、DM-ND350はリトライを続けます。
電源をオンにし、ホームメニュー画面が表示されたが、メニュー内容が空欄になっている。	DM-ND350がメニュー選択モードに設定されている場合、DM-ND350は起動した際にWEB サーバーへアクセスしてメニューを取得しようとします。WEBサーバーと接続できない場合、DM-ND350はリトライを続けます。
POWER 表示灯が点滅を繰り返している。	メンテナンスモードになっています。DM-ND350背面にあるリセットボタンを長押しすると、メンテナンスモードになります。
リモコンを押してもフロントパネルのKEY 表示灯が点滅しない。	リモコンの電池が切れている可能性があります。
Web ブラウザ設定画面のトップページが正しく表示されない。	Internet Explorer が記憶済みの情報に基づいて誤動作している。

	処置
	DM-ND350が接続されているネットワーク環境でDHCPサーバーが動作しているか確認してください。 DHCP の設定をオフにしたい場合には、DM-ND350 の電源を入れた直後にリモコンの MENU ボタンを押し続け、ネットワーク設定画面をビデオモニターに表示させます。矢印ボタン（◀▶）によりオン／オフを切り換えることができます。 ☞20 ページ
	WEB サーバーが動作しているか確認してください。 メニュー選択モードを番号選択モードへ切り替えたい場合には、WEB ブラウザで DM-ND350 へアクセスして設定変更してください。 ☞22 ページ
	電源を入れ直せば、通常通り起動します。メンテナンスモードについては設置説明書をご覧ください。
	新しい電池と交換してください。
	Internet Explorer のツール→インターネットオプションを開き、インターネット一時ファイルの「ファイルの削除」ボタンを押し、「すべてのオフラインコンテンツを削除する」をチェックしてOKボタンを押して下さい。Internet Explorerは古い情報を捨て、DM-ND350 へ正しくアクセスするようになります。

トラブル時の対応

症状	原因
リモコンで選択してもDM-NE300と接続できない	番号選択モードの場合、1～999番までを選択できますが、設定されていない番号は選択できません。
	DM-NE300の電源がオフになっている、あるいはネットワーク機器や回線に問題が発生している可能性があります。
DM-NE300と接続しても映像が黒画面のままである	DM-NE300へビデオ信号が入力されていない、あるいはDM-NE300背面パネルにある入力選択スイッチの設定が間違っている可能性があります。
	マルチキャストの場合、ネットワークがマルチキャストパケットを正しくルーティングしていない可能性があります。
DM-NE300と接続し映像は出るが音声が出ない	DM-ND350がミューティングされている、あるいは音声ボリュームが絞ってある可能性があります。
エラー訂正機能（FEC）をオンにしたのにパケットロスによりノイズが入る	DM-NE300側でエラー訂正機能がオフになっている可能性があります。
	DM-NE300側で設定したFECパラメータの復元限界を超えたパケットロスが起こっている可能性があります。

処置

有効な番号を選択してください。

DM-NE300が起動しているか確認してください。ネットワーク機器や回線に問題がないか確認してください。

DM-NE300へビデオ信号を入力し、入力選択スイッチを正しく設定してください。

IGMP に準拠したネットワーク機器をお使いください。IGMP に準拠していないネットワーク機器では、マルチキャストパケットを正しくルーティングできない場合があります。

リモコンの MUTING ボタンでミューティングを解除してください。音声ボリュームが絞ってある場合には、リモコンの＋ボタンでボリュームを上げてください。
☞12 ページ

DM-ND350 および DM-NE300 の双方でエラー訂正機能をオンにしてください。

DM-NE300に設定するFECパラメータをより強力なものに変更してください。なお復元能力が高いパラメータほどビットレートの増加分や遅延時間が増えるというトレードオフがあります。

メモ

DM-NE300 の設定については、システム管理者にお問い合わせください。

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、
大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望ににより有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店に次のことをお知らせください。

機種名：DM-ND350
故障の状態をできるだけ詳しく
ご購入年月日
ご住所、ご氏名、電話番号

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

圧縮フォーマット

＜映像＞	ISO/IEC13818-2(MPEG-2VIDEO)
圧縮規格	MPEG-2
対応フォーマット	480i
フレームフォーマット	Interlace:29.97 Hz
＜音声＞	ISO/IEC11172-3 (MPEG-1 Layer Ⅱ Audio)
圧縮規格	MPEG-1 Layer Ⅱ
ビットレート	Stereo:192 kbps
サンプリングレート	48 kHz

入出力

＜映像出力＞	NTSC
Composite Video	RCA ピン× 1 1.0 Vp-p（75 Ω）
Y/C 信号	S 端子× 1 Y 出力　1.0 Vp-p（75 Ω） C 出力 0.286 Vp-p（75 Ω）
＜アナログ音声出力＞	
出力端子	RCA ピン× 2 （L / R）
出力インピーダンス	100 Ω以下
出力レベル	最大　2 Vrms（10 k Ω）
負荷インピーダンス	10 k Ω
＜デジタル音声出力＞	
SPDIF	同軸（不平衡）RCA × 1
出力レベル	0.5 Vp-p（75 Ω）
適合負荷インピーダンス	75 Ω
＜その他＞	
外部制御	RS-232C D-Sub9Pin （オス）× 1
ストリーム制御	RTSP/TCP/IP
ネットワークインターフェース	100BASE-TX RJ-45 × 1
ストリーム入力	100BASE-TX RTP/UDP/IP 入力レート　1.0Mps ～ 15Mbps 入力フォーマット　MPEG-2 Transport Stream(ISO/IEC 13818-1) TS パケットサイズ　188 バイト

仕様

総合

＜ AC アダプター＞

AC 入力	AC 100 V　50 Hz/60 Hz
DC 出力	DC12 V　3 A
寸法	99.5 ㎜× 49.5 mm × 25.5 mm
質量	200 g
AC コード	約 1.8 m（着脱式）
DC コード	約 1.2 m
安全規格	電気用品安全法

＜リモコン＞

方式	パルス間隔（位置）変調
中心波長	920 nm
到達距離	5 m 以内 （左右± 20°、上下± 20°）
電源	DC 3 V （単 4 型乾電池× 2 ）
寸法	123 mm × 51.5 mm × 22.6 mm
質量	72 g（単 4 型乾電池 2 本含む）
電池寿命	10 か月（1 日 30 分使用時）

※本機の仕様、および外観は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

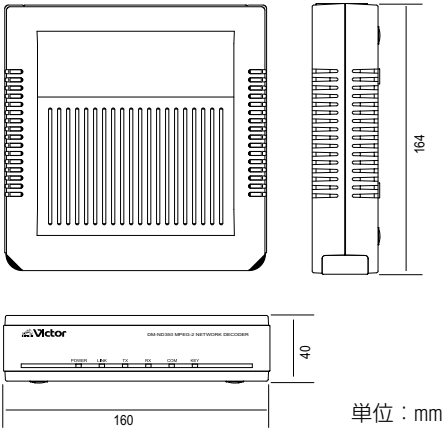
＜本体＞

電源	AC アダプター外付け方式
消費電流	DC12 V　0.6 A（本体表示）
動作環境	0 ℃～ 40 ℃（非結露）
質量	400 g
安全規格	JIS C 6950
EMC 規格	VCCI　クラス A　情報処理装置

＜付属品・添付物＞

取扱説明書	× 1
ビクターサービス窓口案内	× 1
安全上のご注意	× 1
保証書	× 1
AC アダプター	× 1
電源コード（1.8m）	× 1
単 4 形乾電池（動作確認用）	× 2
フェライトコア	× 2
コードクランプ	× 1
リモコン	× 1

＜本体外形寸法＞



単位：mm

DM-ND350 MPEG-2 ネットワークデコーダー 取扱説明書

お客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (03)5684-9311［代表］

FAX (03)5684-9317

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

日本ビクター株式会社

プロシステムカンパニー

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話(0426)60-7292

©2004 Victor Company of Japan, Limited

LST0234-001B